

# Cubase 4 & Cubase Studio 4 (4.0.2)

Ver.4.0.1 から ver.4.0.2 へのアップデートにて以下の問題点を解決しました：

Issue ID	詳細
2686	(VST Effect) Roomworks : 使い始めて暫くすると大音量のデジタル・ノイズを発生する。
2878	VSTiトラック・フリーズ : フリーズするとHALion Symphonic Orchestraのドラム・ロール・ループがループしない。
2974	全プラグインのアウトプット・メーターが不正確。
3567	オーディオ・ワーブ : ディスク・パフォーマンスが著しく低い。
3986	DVDドライブによってCDインポート機能が使用できない。
4068	(VST Effect) Grungelizerをバイパス/アクティブすると機能しなくなる。
4348	メディアベイ : フォロー・テンポが機能しない。
4392	インプレイス・エディタでベロシティを選択するとノートが鳴り止まない。
4489	カーソルが跳ねてしまう (MIDIプラグインの問題でした)。
4496	オフライン・プロセス・ヒストリー (プラグイン使用) で最新ステップが変更されると過去のプロセスが変わってしまう。
4585	(VSTi) HALionOne : Studio Bankのサウンド“T8 Analog Kit”がループしたままになる。
4645	(VSTi) HALionOne : CPUパフォーマンスが低い。
4676	Cubase SX3で作成したプロジェクトをCubase 4に読み込むとDoubleDelay (とその他) の設定を失ってしまう。
4687	MIDIオートメーションの抽出でパートからCCが削除されない。
4695	プロジェクト互換性 : Nuendo 3プロジェクトがCubase 4に読み込めない。
4741	インプット・チャンネルの削除/追加を行なうとクラッシュする。
4746	外部インストゥルメントを一度削除すると、StudioManager2エディターが二度と開かない。(VstOpExternalEffectが削除されない。)
4758	インストゥルメント・トラック/トラックの複製/プロジェクトの保存&読み込んでインプット・トランスフォーマーが正常に動作しない。
4785	インプレイス・エディタを開くと壊れたトラック・プリセットを作成してしまう。
4814	スコア : ノート長を変更するとクラッシュする。
4816	インサート・エフェクトのバイパス/アクティブを繰り返すとオーディオ入力がなくなり、重大なエラーを起こす。
4829	Yamaha DSP Factory - 部分的に対応箇所が減っていた。
4839	MP3ファイル (v1.0 & 1.1 / ID3タグ) がスキャンされた場合にメディアベイがクラッシュする。
4842	ミキサー : “全てのミキサー設定を読み込む” が機能しない。
4885	“蓄積したMIDIイベントを保存する” 機能がCubase SX3と比較すると部分的に動作がおかしかった。
4902	チャンネルのリルートに時間が掛かりすぎる (反応しない)。
4924	IntelプロセッサとPower PCプロセッサ間でSynthEngineの音が違う。
5013	Mac : 情報ラインでVST3オートメーション・データをテキストを使って書き換えるとクラッシュする。
5019	オーディオ・トラックのトラック・プリセットを2度変更した後エフェクターを表示するとクラッシュする。
5050	MIDIトラックFXとモディファイアが機能しない。
5057	(VSTi) HALionOne : Windows版のCubase 4.01インストーラーに含まれているGmDrumSet 1が使用できない。
5062	プロジェクトと異なるサンプルレートで書き出しを行なうとエラーが起こる。
5107	日本語環境下でメディアベイが日本語名のついたファイルを正しく扱えない。
5112	(VST Effect) Rotary : プリセットを読み込むとスピード・パラメーターが正しく機能しない。
5161	ミキサー・チャンネル設定のコピーが正しく機能しない。
5165	スコア : ワークスペースを使用するとクラッシュする。
5181	オーディオ・バッファを下げるとプログラムがフリーズする。
5182	オーディオ・トラックのエディタが開いているそのトラックのオーディオ・レコーディングが行なえない。
5268	(VST effect) AmpSimulator : 96kHzプロジェクトで再生音が狂う。
5357	Cubase Studio 4 : アウトプット・チャンネルのインサート・スロット数が仕様よりも少ない。
5361	フォルダ・トラック内のトラックをスクロールすると“予期せぬエラー”でCubase 4が強制終了してしまう。
5376	(VSTi) Native InstrumentsのVokatorがmono in/stereo outとして扱われてしまう。
5389	VSTiのフリーズを解除してプロジェクトから削除してもプロジェクトを終了する時に再度ロードされてしまう。
5412	Mackie Control : Mackie Control経由でVSTiをロードできない。
5444	日本語環境下でQuickTimeスクリーンを開くことができない。
5634	プレイバック中にModMachineのレイトを変更すると再生音がおかしくなる。
5813	VSTiをロードするとリモート・デバイス・リストからHoustonを削除してしまう。
5843	MPEXタイム・ストレッチ : プレビュー中にレシオ変更を行なうとクラッシュする。
5844	Yamaha O1X / Mackie Controlでページ変更ができなかった。
6034	PowerPC版のCubase MacからIntel版のCubase Macにプロジェクトを移すとプログラム起動時にフリーズする問題。
6397	HALionOneのいくつかのプリセットでチューニングとループ問題がありました。

## イシュー&amp;ソリューション

Issue ID	イシュー	ソリューション
0001	リモート・デバイスをリアルタイム・エクスポート中にいじると変更情報が反映されてしまいます。	リアルタイム・エクスポート中はリモート・デバイスに触らないでください。
0012	モニタリングが有効なトラックに関してはオーディオミックスダウン時に含まれない。	モニタリングを解除してください。
0034	非常に短いクリップでタイム・ストレッチが機能しない。	タイム・ストレッチ前にパウンス作業を行なってクリップの長さを長くしてください。
0078	AIFF、WAV、BWF、SDIIを使って長時間レコーディング中にそれぞれのファイルの最大値を超えるとレコーディング・ファイルが壊れてしまう。	4時間を越えるモノまたはステレオのレコーディング、または5.1ファイルの1時間程度のレコーディングを行う場合はWAV64ファイルの使用をお勧めします。
0231	一度に大量のトラック（オーディオ/MIDI）を作成するとプログラムが反応しなくなることがある。	例えば20トラックずつなど、一度に作るトラック数を減らして追加してください。
0232	2つのプロジェクトを読み込んでいる状態でプロジェクトをスイッチしながらスコア・エディタを同時に編集すると様々な問題が発生する。	スコア・エディタで編集時はプロジェクトを1だけ読み込んで行ってください。
0234	(VSTi) インспекター内のMIDIバンニングがA1で使用できない。	オーディオ・アウトプットのバンニングを代用してください。
1325	イベントのグルーピングが機能しない。	ミキサーの“常に前面に表示”設定を解除してください。
1327	VST System Link - Steinberg VSL 2020 オーディオ・カードを使用している時、“Lower Latency”機能のOn/Off状態が同期に悪影響を及ぼす。	VST System Linkの使用に問題がある場合は、VSL 2020の“Lower Latency”設定をOFFにしてご使用ください。
1338	“ビデオファイルからオーディオを抽出”機能がWindows版のQuickTime 7.1.3で機能しない。インポートしたオーディオが歪んだり、片チャンネルしかインポートできないなどの症状がある。	QuickTime 7.1.3以前のバージョンのQuickTimeをご使用ください。
1352	長時間操作した後にオーディオ・アウトプットにクラッキングやノイズが発生してしまう。	これはCPUやASIOデバイスの仕様による場合がほとんどです。ASIOデバイスを時折りリセットしてください。
1362	非常に短いオーディオのフェード（数サンプル程度）を行なうとクリック・ノイズが発生する。	フェードをより長く設定してください。
1367	MPLEXタイムストレッチ（オフライン・プロセス）：クリップに対してストレッチを行った場合に、適用範囲の最後の部分が短いサンプルを繰り返したように聴こえる場合がある。	最後の部分だけ手動でトリミングするなどの対応をしてください。
1468	数百オーディオ・トラックにも及びプロジェクトに関しては、これらをコピーしたり、トラックを追加するとクラッシュしてしまう。	現在のところ解決策はございません。
1799	“録音ファイル用フォルダ”機能が使用されているにもかかわらず、そのフォルダが設定されているディスク（例えばFireWireデバイスなど）が未接続の状態だとレコーディングが失敗する。	レコーディング前に“録音ファイル用フォルダ”を再割り当てしてください。
1900	フレーム設定が29.97 fpsで、プリロールが使用されていて、トランスポートが00:00:00:00からスタートする設定では間違ったMTCが送信されてしまう。	プロジェクトをNTSCのフレームレートに設定して、プロジェクト開始時間を00:00:00:00にしてください。
2215	Video for Windows、またはQuickTime ビデオ・プレーヤーがWindows Media Video ファイルを再生できない。	Windows Media Video ファイルを再生する場合はDirectShowビデオ・プレーヤーを選択してください。
2545	長時間に及びオーディオ・レコーディングを行うと、波形イメージが崩れている場合がある。	プール・ウィンドウ内の波形イメージをダブルクリックして再構築してください。
2592	[Mac OS X] Double DelayまたはMod Delayが最前面にあって、矢印キーが使用されていると、Cubase/Nuendoがクラッシュする場合がある。	矢印キーを使用する前にこれらのプラグインを閉じてください。
2665	メディアベイ・スコープ・ウィンドウがSDIIファイルの波形を表示できない。	SDIIファイルはなるべくAIFFなどのメディアベイ対応フォーマットに変換してご使用ください。
2728	[Mac OS X] Cubase 4がインストールされたPower PC MacintoshでReWireデバイスが表示できない。	最新バージョンのReWire Libraryをインストールしてください。（Propellerhead Software社からダウンロードすることができます。）
2902	“チャンネル設定”ウィンドウの“常に前面に表示”機能が有効な場合、プロジェクト・ウィンドウ内でキー・コマンドを使用したコピー/ペースト機能が正しく機能しない。チャンネル設定データが代わりに他のチャンネルにコピー/ペーストされてしまうことがある。	プロジェクト・ウィンドウ内でコピー/ペーストを行う前にチャンネル設定ウィンドウを閉じてください。
2915	[Mac OS X] Apple Mighty Mouseを使っているとスクロールが正しくできない場合がある。	Mac OS Xがマウス・コマンドを制御しているので、プログラムの修正だけでは改善することができません。スクロールの問題に遭遇する場合はサードパーティーの標準的なUSBマウスをお試しください。

2960	VST2.x インストゥルメントを使用中にプリセットを変更すると音は正しく変わるものの、間違ったプリセット名が表示されてしまう。	回避策は残念ながらありません。現在問題を調査中です。
3073	処理を行うファイルの名前が非常に長かったり、特殊文字を含む場合に、タイムストレッチのようなオフライン処理を行うと処理を完了できなかったり、クラッシュする。	オフライン処理を行う前にファイル名が適当かご確認ください。
3111	WMAサウンド・ファイルをインポートすると再生時にプログラムがクラッシュしてしまう。	最初にWMAファイルをその他のフォーマットに変換してご使用ください。
3138	ミキサーを拡張表示にしている時にタイトル・バーがスクリーンの外に出てしまう。	Mac OS Xでデュアルモニタ・セットアップ時のみ起こります。ミキサーを拡張表示にしないでスクリーンの低い位置に移動した後に再度拡張表示してください。
3173	Cubase 4で作成したOMFファイルをLogic Pro 7.1で開くことができない。(Logic Proがクラッシュする。)	Logic Proのアップデートをお待ちください。
3266	MIDIMan (現M Audio) のMIDI Sport 8x8 MIDIインターフェイスとデフォルトのWindows MIDIドライバ使用時にMIDIのレコーディングに失敗(強制終了/フリーズ)することがある。	DirectMusicのMIDIポートをご使用ください。このポートは初期設定では不可視状態ですが、Cubase 4のインストールDVD-ROMに付属するMIDI Port Filter機能をご利用頂くことで使用可能になります。
3710	IK MultimediaのAmplitudeバージョン1がクラッシュする。	IK Multimedia Amplitudeのバージョンを2に上げてください。
3724	“Delete” キーを含むマクロが空のトラックに適用されると失敗、またはクラッシュを引き起こすことがある。	空トラックに対してDeleteキーを使ったマクロを実行しないでください。
3740	フォルダ・トラック内のMIDIトラックをフリーズ解除しても、MIDIトラックの状態は変わらずフリーズしたままである。	フォルダを解除して再度フリーズ解除してください。
3834	MP3ファイルによってはメディアペイで正しく再生することができない。	できるだけ非圧縮のオーディオ・ファイル(WAV / AIFF)をご使用ください。
3868	フォント・セット(スコア・メニュー > 設定 > プロジェクト > テキストの設定)を削除できない。	“Ctrl” キー (Win)、“Cmd” キー (Mac) を押しながらマウスで一覧の中から削除したいフォント・セットを選択してください。
3873	アプリケーションを初めて起動する時にASIOデバイスが初期化されない。	デバイス・メニュー > デバイス設定で一度ASIO Full Duplexドライバを選択後にご使用になられたいASIOデバイスを選択してください。
3896	H.264フォーマットのビデオ・コーデックのサムネイル表示がCPUパフォーマンスの大量消費などの問題を来す場合がある。	圧縮率の低いその他のビデオ・コーデックを使用するようにしてください。(DVフォーマットなど)
4167	メディアペイ [Mac OS X]: ファイルがフォルダから変更、移動、追加、削除された場合、メディアペイが自動的に認識しなおしません。	手動で更新を行ってください。
4307	メディアペイ: ブラウザ内の特定のフォルダを手動で更新した時に、フォルダがグレーのままになってしまうなど、時々正しくない状態になってしまう。	必要に応じてアプリケーションをリスタートするなどの対応をお願いいたします。
4321	メディアペイ: 属性がカスタマイズされたファイルが時折“詳細”検索モードで見つけられない場合がある。	タグが埋め込まれたファイルはタグエディタの“全て”で一度は選択、または視覚化されているはずですが。
4346	メディアペイ: REXファイルをプレビューできない。	メディアペイはREXファイルを再生できません。
4353	大量のグループ・チャンネルを一度に削除するとクラッシュする場合があります。	最高でも10グループずつに区切って削除してください。
4364	メディアペイ: サウンド・ライブラリのサイズがあまりにも大きい場合にメディアペイが初めてライブラリをスキャンする時に全てのファイルを認識できない場合がある。	右クリック (Mac OS XではCmd+クリック) を使ってブラウザ・ロケーションを更新してください。
4368	メディアペイ: MP2ファイルがメディアペイで正常に認識されない。	今後のアップデートで修正する見込みです。
4414	開始時間が00:00:00:00以外でMTCが送られた状態のプロジェクトを開いた時にトランスポートがきかない場合がある。	プロジェクトを開いた後にタイムライン内でマウスを一度クリックして手動でプレイカーソル位置を動かしてください。
4424	メディアペイ: メディアペイ・ビューアーで削除したファイルがゴミ箱ではなく、即座に削除されてしまう。	メディアペイ・ビューアー内でのファイル削除にはご注意ください。
4474	メディアペイ: 現在再生中だったり、プレビュー中のファイルに関してはメディアペイ内でタグ情報を入れられない場合がある。	ファイルにタグ情報を追加する場合はそのファイルが現在プロジェクト上で再生されていたり、メディアペイ内でプレビューされていないことをご確認ください。
4527	ブラウザ・サウンド・ダイアログを使用中で、シーケンサーがレコード・モード時に、インストゥルメント・トラックの作成をキャンセルするとCubaseがフリーズ/クラッシュする場合があります。	レコード・モード状態で“ブラウザ・サウンド”機能を使用しないでください。
4544	シングルCPUのシステムで複雑なGUIをもったプラグインを使用していると、特に大量のオートメーションを使用した場合に、プログラムのハングアップ、フリーズなどの現象が起こる場合がある。	この現象はプラグインのGUIが開いている場合のみ起こるため、必要ない場合はプラグインのGUIを閉じてください。
4832	ファイル変換中にWAVEファイルをプロジェクトにドラッグするとエラーが起こる。	変換作業が終わるまでお待ちください。
4973	保存されたプロジェクトの名前の最後に日付が含まれている場合、ファイル名が変換されてしまう。	ファイル名に“.”を使用しないでください。

5231	リンクしたオーディオ・トラックでエンゲージRECがすべてのトラックに適用されない場合がある。	初期設定 (Win) / 環境設定 (Mac OS X) の “選択トラックを自動的に録音可能に設定” を有効にしてください。
5248	システムによってはIntelのハイバースレディングが有効な場合にCubase 4の負荷が高まった際にフリーズしてしまう場合がある。	このような現象がある時はハイバースレディングを無効にしてください。
5279	Mac Proの “built-in audio” デバイスがマルチチャンネルI/Oとして使用できない。	Audio MIDI 設定ユーティリティを使用して “built-in audio” デバイスのアグリゲイト・デバイスを作成してください。
5446	特定のプラグイン (WavesのRVoxなど) が使用 (開いている) 状態でも) されているプロジェクトでASIO/CoreAudioのバッファ値を変更するとシステムがフリーズする。	ASIO/CoreAudioのハードウェア・デバイスのバッファ値はプロジェクトがロードされていない状態で変更してください。
5503	メディアベイ : REX2ファイルプロジェクトにコピーできない。	REX2が保存されているフォルダからプロジェクト内に直接ドラッグ&コピーしてください。
5616	Cubase 4にVer.3 (SX3 Nuendo 3) プロジェクトを読み込むとStudio Managerポートが正しくリコールされない。	Studio Manager内で適切なMIDIポートを割り当ててください。
5639	フォルダパート間のパートのコピー/ペーストに時々失敗する。パートが正しく追従しない。	複雑なパートアレンジ部分をコピー/ペーストする必要がある場合は、既存のフォルダパートへのペーストは行わないようにしてください。
5669	メディアベイが “常に前面に表示” 状態の時、プロジェクトで行った “削除” などのコマンドがメディアベイ内に適用されてしまう。	この問題を事前に防ぐためにメディアベイの “常に前面に表示” 機能は無効にしておいてください。
5773	ASIOのバッファ値が非常に大きい場合にArpache SXが正確に機能しない。	バッファ・サイズを小さくしてください。
5860	VST System Linkでスレーブ・システムがマスター・システムの “プリロール” に正しく追従しない。	VST System Linkを使用した同期を行う場合は “プリロール” 無効にしてください。
5861	VST System Linkを使用中にジョグ/シャトルが機能しない。	VST System Linkチェーン内のCubaseのプロジェクト開始時間 (プロジェクト・メニュー > プロジェクト設定 > 開始) を同じ時間に合せてください。
5862	VST System Linkでオーディオと同期を同じポートを使用して行うと正しく動作しない場合がある。	VST System Linkのコントロールは専用のオーディオ・ポートを使って行ってください。
5864	VST System Linkがトランスポート内でシンク・ボタンを使って無効にできない。	デバイス・メニュー > デバイス設定 > VSTオーディオシステム > VST System Linkでシンクを無効にしてください。
5865	VST System Link (オープン・ループ) で複数のコンピュータを同期していると、リンク・チェーンの後側にあるコンピュータのMIDI精度が不正確になり、サイクルが機能しない。	オープン・ループでの同期に関してはVST System LinkではなくMTCをご使用ください。
5927	VSTコネクション・プリセットでプリセットに “未接続” ポートがある場合に、ASIOポートが正しく再現されない。	“未接続” ポートにVSTコネクションのバスを割り当てるか、不使用バスを削除してください。
5983	“蓄積したMIDIイベントを保存する” 機能 : MIDIポートが一つだけ選択されているにもかかわらず、全パーツからイベントが蓄積されてしまう。	選択されていないMIDIポートが意図しないデータをプレイしない状態になっていることをご確認ください。
5985	プレイバック中にMIDIリスト・エディタを閉じるとクラッシュすることがある。	エディタを閉じる前にプレイバックを停止してください。
	TimeBanditタイムストレッチ/ピッチシフトはサポートされなくなりました。	MPEX3、またはリアルタイム・モードを代用ください。
	[Windows] DirectX プラグインはサポートされなくなりました。	DirectX-VSTラッパーか、VST版のプラグインをご使用ください。
	Real Audioファイルのインポート/エクスポート機能はサポートされなくなりました。	エクスポート機能に関しましてはReal Audioファイルへの変換機能を搭載した別のソリューションをご使用ください。
	[Intel Mac] VSTiのMonologue、Embracer、VSTエフェクトのTonic、Apogee UV22/UV22HRプラグインが付属しない。	現在これらのプラグインはIntel Macに非対応なので、ご使用頂くことができません。